

各位

遠鉄グループ 2023 年度決算 ならびに遠鉄グループの人事異動等について

1. 遠鉄グループ 2023 年度決算について(別紙のとおり)
 - (1) 遠鉄グループセグメント別(事業別)の概況
 - (2) 業績推移(連結決算・セグメント別営業収益・セグメント別営業利益)
 - (3) 遠鉄グループ各社の主な事業内容
2. 遠鉄グループの人事異動について(別紙のとおり)
 - (1) 遠州鉄道株式会社の役員人事
 - (2) 遠州鉄道株式会社の管理職人事
 - (3) 遠鉄グループ各社の常勤役員人事

この件に関する問い合わせ先

遠州鉄道株式会社 経営企画部

1. 遠鉄グループ 2023 年度決算について

当連結会計年度におけるわが国経済は、2020 年から続いたコロナ禍を乗り越え、30 年ぶりとなる高水準の賃上げなど、前向きな動きがみられ、静岡県西部地域においては、NHK 大河ドラマ「どうする家康」の放送により浜松大河ドラマ館を中心に多くの観光客が訪れ、ホテル・旅館業にとって業績回復の追い風となりました。一方、物価上昇の影響もあり、個人消費や設備投資は力強さを欠いたものとなりました。また、企業の人手不足は、人口減少が進行する中で更に深刻化しております。

このような状況の中、当社グループは、新型コロナウイルス 5 類移行後の経営環境の変化にスピード感を持って対応し、地域やお客様になくてはならない商品・サービスに注力してまいりました。あわせて、新たな事業領域にも挑戦し培ってきた経営資源との融合を図ることで事業の可能性を一層広げてまいりました。また、遠州鉄道創立 80 周年・遠鉄ストア創立 50 周年・遠鉄百貨店開店 35 周年を機に、お客様への感謝の意を表す記念事業を実施し、販売の強化に努めました。

当連結会計年度の業績につきましては、営業収益 2,145 億 5 百万円(前連結会計年度比 15.0% 増加、経常利益 72 億 1 千 4 百万円(前連結会計年度比 64.9% 増加)、親会社株主に帰属する当期純利益は 43 億 6 千 1 百万円(前連結会計年度比 142.8% 増加)となりました。

今後の見通しにつきましては、政府の総合経済対策の進捗に伴い、賃上げをはじめとする所得環境の改善や企業の設備投資の拡大等により、経済成長の実現が期待される一方で、物価高やエネルギー価格の高止まり、国内金利の上昇など景気の下振れ要因も多く、景気は緩やかな回復軌道に留まると予測されています。また、深刻化する人手不足への対応としては、人材価値を最大限に引き出すことによって、中長期的な企業価値を高めていく人的資本経営への取り組みが求められています。

常に変化する経営環境のなかにあっても、「地域とともに歩む総合生活産業」として、地域社会の皆さまや従業員から「選ばれる会社」となるよう努めるとともに、持続可能な社会の実現、持続的な企業価値の向上に取り組み、経営基盤の強化と連結業績の向上に努めて参ります。

なお、2024 年度の連結年間業績につきましては、営業収益は 2,178 億円(前年同期比 1.6% 増加)、経常利益は 42 億円(前年同期比 40.7% 減少)、当期純利益は 26 億円(前年同期比 38.5% 減少)となる見込みです。

(1) 遠鉄グループセグメント別(事業別)の概況

① 運輸事業(鉄道事業、バス事業、タクシー事業など)

鉄道事業におきましては、人流の回復に伴い乗車人員は前年比 9.8% 増加し、営業収益も前年比 11.4% 増加しました。

バス事業におきましては、路線バスについては、7 月に実施した運賃値上げによる増収に加え、人流の回復に伴い乗車人員は前年比 4.6% 増加しました。空港直行バス e-wing については、人流の回復を想定してダイヤを大幅に増便し、掛川発着便の運行を再開するなど営業収益の拡大を図りました。また、「浜名湖花博 2024」会場へのアクセス手段となるシャトルバス、空港直行バス e-wing、遠鉄高速バス e-LineR にて、クレジットカード等のタッチ決済対応を開始し、お客様の利便性向上に努めました。その結果、営業収益は前年比 21.2% 増加しました。

タクシー事業におきましては、9 月に運賃改定を実施、人流の回復もあり、営業収益は前年比 6.0% 増加しました。引き続き、運転手の採用と教育を強化してお客様の利便性向上に努めます。

以上の結果、運輸事業の営業収益は、128 億 1 千 7 百万円(前連結会計年度比 16.1% 増加)となりました。

② リテールサービス事業(百貨店業、食品スーパー業)

百貨店業におきましては、催事が好調で特に、「アムール・デュ・ショコラ 2024」は過去最高の売上を記録しました。また、2月には顧客ニーズの高い新規ブランドの導入や、本館5・6・7階の改装を行い、営業収益は前年比3.8%増加しました。

食品スーパー業におきましては、5月に「遠鉄ストア掛川高御所店」および「マツモトキヨシ掛川高御所店」をオープンし、創立50周年企画など販促活動を強化した結果、売上は好調に推移しました。移動スーパーについては、10台目の稼働を開始しました。引き続き、地域のお客様の利便性向上に努めます。

以上の結果、リテールサービス事業の営業収益は、696億8千7百万円(前連結会計年度比8.0%増加)となりました。

③ モビリティサービス事業(自動車販売業、石油製品販売業)

自動車販売業におきましては、静岡トヨタでは過年度より続いていた納車待ちの状況が大きく改善し新車販売台数が増加しました。また、4月に遠州鉄道が新たにスズキ車の正規販売店として新規出店を行い、二輪車販売事業とスズキ車の四輪販売事業を行う青山商会が遠鉄グループに加わったことで、売上が伸長しました。

石油販売業におきましては、8月に「キーパープロショップ住吉バイパス店」をオープンし、外出需要の増加により、売上也好調に推移しました。

以上の結果、モビリティサービス事業の営業収益は、903億4千8百万円(前連結会計年度比21.9%増加)となりました。

④ 不動産事業(不動産業、建設工事業)

不動産業におきましては、「ブライトタウン松城」は56戸の引渡し完了しました。物価および建築コストの高騰が続く中においても、分譲住宅や規格型の注文住宅の販売を強化し売上は好調に推移しました。

以上の結果、不動産事業の営業収益は、176億8千3百万円(前連結会計年度比14.4%増加)となりました。

⑤ ウェルネス事業(介護事業、保険代理業、旅行業、ホテル業など)

介護事業におきましては、3月に豊橋市内4拠点目となる「ラクラス豊橋三ノ輪デイサービス」を開設し、豊橋市内での認知度向上に努めました。

旅行業におきましては、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、外出機会が増加したことから、バンビツアーの日帰りコースおよび宿泊コースの参加者が大幅に増加しました。

ホテル業におきましては、大河ドラマ「どうする家康」の影響および外出需要の増加で客数を増やし、営業収益の好調な推移をもたらしました。ホテルコンコルド浜松では、2月に東海地方のホテル初となる無人決済店舗「CONCORDE GO」をオープン、浜名湖パルパルでは、7月に「ポップコーンパニック」、3月に「カード迷路ぐるり森大冒険」をオープンするなど、快適かつ楽しく過ごせる施設づくりに努めました。

以上の結果、ウェルネス事業の営業収益は、126億4千万円(前連結会計年度比12.7%増加)となりました。

⑥ その他の事業

(自動車運転教習業、ビル管理業、情報サービス業、ソフトウェア開発業など)

自動車運転教習業におきましては、プロ免許(大型、中型、大特、けん引)教習の受入れを増やし、売上が増加しました。

情報サービス業におきましては、自治体における「書かない窓口」実現を目指す窓口業務支援システム「らくまど」の導入支援を県内 1 か所および県外 9 か所の自治体で実施し、売上が伸長しました。

以上の結果、その他の事業の営業収益は、113 億 2 千 8 百万円(前連結会計年度比 11.0% 増加)となりました。

(2)業績推移

① 連結決算

(単位:百万円)

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2022年度比	2024年度 (予測)	2023年度比
営業収益	216,214	184,875	177,642	186,527	214,505	115.0%	217,832	101.6%
営業利益	4,627	2,715	2,614	3,720	6,304	169.5%	3,864	61.3%
経常利益	5,069	3,439	3,167	4,375	7,214	164.9%	4,280	59.3%
当期純利益	1,361	1,233	748	1,796	4,361	242.8%	2,684	61.5%

(注) 金額は、百万円未満を切り捨て表示しております。

② セグメント別営業収益

(単位:百万円)

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2022年度比	2024年度 (予測)	2023年度比
運輸事業	14,482	7,829	9,424	11,037	12,817	116.1%	13,071	102.0%
リテールサービス事業	87,586	66,225	64,156	64,521	69,687	108.0%	70,783	101.6%
モビリティサービス事業	71,274	72,916	69,508	74,097	90,348	121.9%	90,467	100.1%
不動産事業	18,128	15,681	15,471	15,452	17,683	114.4%	18,347	103.8%
ウェルネス事業	24,743	8,106	9,235	11,215	12,640	112.7%	13,156	104.1%
その他の事業		14,116	9,843	10,203	11,328	111.0%	12,008	106.0%
合計	216,214	184,875	177,642	186,527	214,505	115.0%	217,832	101.6%

(注) 金額は、百万円未満を切り捨て表示しております。

③ セグメント別営業利益

(単位:百万円)

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2022年度比	
運輸事業		△91	△2,240	△914	△539	6	-
リテールサービス事業		1,133	1,437	1,018	653	783	119.9%
モビリティサービス事業		523	1,674	647	1,170	2,533	216.5%
不動産事業		1,840	1,324	1,093	1,163	997	85.7%
ウェルネス事業		1,260	△878	△240	446	694	155.6%
その他の事業			1,145	805	673	1,026	152.5%

(注) 金額は、百万円未満を切り捨て表示しております。

(3) 遠鉄グループ各社の主な事業内容(2024年3月31日現在)

事業区分	事業内容	主要な会社
運輸事業	鉄道事業	遠州鉄道(株)
	一般乗合旅客自動車運送事業	遠州鉄道(株)
	一般貸切旅客自動車運送事業	遠州鉄道(株)
	自家用自動車運行請負業	遠州鉄道(株)
	自動車整備業	遠州鉄道(株)、日之出自動車工業(株)
	一般乗用旅客自動車運送事業	遠鉄タクシー(株)
	一般貨物自動車運送事業	日之出自動車工業(株)
リテールサービス事業	百貨店業	(株)遠鉄百貨店、(株)遠鉄百貨店友の会
	食品スーパー業	(株)遠鉄ストア、(株)古田屋
モビリティサービス事業	自動車販売業	遠州鉄道(株)、静岡トヨタ自動車(株)、 (株)青山商会
	自動車賃貸業	(株)トヨタレンタリース浜松
	石油製品販売業	遠鉄石油(株)、(株)古田屋
不動産事業	不動産業	遠州鉄道(株)
	建設工事業	遠鉄建設(株)
ウェルネス事業	介護事業	遠州鉄道(株)
	保険代理業	遠州鉄道(株)
	旅行業	遠州鉄道(株)
	ホテル業、遊園地事業	遠州鉄道(株)、遠鉄観光開発(株)
その他の事業	自動車運転教習業	(株)遠鉄自動車学校
	ビル管理業、健康スポーツ業、 食品検査事業	遠鉄アシスト(株)
	情報サービス業	遠鉄システムサービス(株)
	ソフトウェア開発業	遠鉄ベトナム(有)

グループ会社数 17 社(遠州鉄道含む)

2. 遠鉄グループの人事異動について

◆遠州鉄道株式会社 役員(就任日:遠州鉄道株主総会日)

新職	旧職	氏名
遠州鉄道(株) 取締役 兼 静岡トヨタ自動車(株) 取締役副社長【新任】	遠州鉄道(株) 取締役運輸事業本部長	小野田 剛久
遠州鉄道(株) 取締役 兼 遠鉄建設(株) 代表取締役社長【新任】	遠州鉄道(株) 取締役グループ経営推進本部長	野村 和徳
遠州鉄道(株) 取締役 <u>保険事業本部長</u>	遠州鉄道(株) 取締役 兼 遠鉄建設(株) 代表取締役社長	平野 昌利
遠州鉄道(株) 取締役 <u>運輸事業本部長</u> 【昇任】	遠州鉄道(株) 取締役人事部長	高林 宏明
遠州鉄道(株) 取締役グループ経営推進本部長【新任】	遠州鉄道(株) 取締役常勤監査等委員	飯尾 圭介
遠州鉄道(株) 取締役経営企画部長【新任】	遠州鉄道(株) 経営企画部長	岡野 裕貴
遠州鉄道(株) 取締役常勤監査等委員【新任】	遠州鉄道(株) 総務部長	鈴木 敦之
遠州鉄道(株) 取締役監査等委員【新任】(社外取締役)		伊豆田 悦義
遠州鉄道(株) 取締役監査等委員【新任】(社外取締役)		後藤 真理

◆遠州鉄道株式会社 任期満了に伴う役員の退任(退任日:遠州鉄道株主総会日)

旧職	氏名
遠州鉄道(株) 代表取締役会長 ※同日付で遠州鉄道(株) 相談役に就任	齊藤 薫
遠州鉄道(株) 取締役保険事業本部長	寺田 宏明
遠州鉄道(株) 取締役監査等委員(社外取締役)	渥美 利之
遠州鉄道(株) 取締役監査等委員(社外取締役)	鈴木 敏弘

◆遠州鉄道株式会社 管理職(6月異動)

新職	旧職	氏名
総務部長	遠鉄アシスト(株) 代表取締役社長	矢田 央生
人事部長【昇格】	人事部次長 兼 人財リクルート課長	鶴見 英人
旅行営業部長 兼 企画販売課長	旅行営業部長	諸井 宏司
住宅事業部長【昇格】	住宅事業部次長 兼 住宅企画課長	渡邊 一弘
不動産事業部次長【昇格】 兼 開発課長	不動産事業部 開発課長	高橋 芳範
不動産事業部次長 兼 賃貸管理課長	不動産事業部次長 兼 アセットマネジメント課長	鈴木 康朗
総務部 経理課長【昇格】	経営企画部 経営企画課副課長	鈴木 昭史
人事部 人財リクルート課長【昇格】	人事部 人財リクルート課副課長	山村 和恵
人事部 人事戦略課長【昇格】	(株)遠鉄ストア 経営企画課長	小野田 光
不動産事業部 アセットマネジメント課長	不動産事業部 賃貸管理課長	岩井 優
住宅事業部 住宅企画課長	住宅事業部 住宅営業課長	井上 賢
住宅事業部 住宅営業課長	不動産事業本部 不動産業務改善プロジェクトリーダー	佐野 敬介
保険営業部 生命保険営業2課長	保険営業部 生命保険営業3課長	石原 亜希子
保険営業部 生命保険営業3課長	保険営業部 生命保険営業2課長	鈴木 孝英
保険営業部 生命保険営業6課長	保険営業部 生命保険営業7課長	秋山 直彦
保険営業部 生命保険営業7課長【昇格】	保険営業部 生命保険営業6課副課長	松村 正明

(株)遠鉄ストア 経営企画部次長兼経営企画課長	総務部 経理課長	鈴木 將太
(株)トヨタレンタリース浜松 営業推進部次長	保険営業部 生命保険営業 6 課長	鈴木 健太郎
遠鉄タクシー(株) 総務部長	旅行営業部 企画販売課長	服部 光真
(株)遠鉄自動車学校 総務部副部長兼人事課長	人事部課長	石原 守

◆遠鉄グループ 常勤役員(就任日:各社株主総会日)

新職	旧職	氏名
遠鉄アシスト(株) 代表取締役社長【新任】	遠州鉄道(株) 住宅事業部長	米田 典弘
静岡トヨタ自動車(株) 取締役中部営業部長【新任】	静岡トヨタ自動車(株) 藤枝東店長	森下 光則
静岡トヨタ自動車(株) 取締役バリューチェーン推進部長【新任】	静岡トヨタ自動車(株) 営業推進部長	白澤 敬輔
遠鉄観光開発(株) 取締役コンコルド総支配人【新任】	遠鉄観光開発(株) コンコルド総支配人	高林 豪
(株)遠鉄自動車学校 常務取締役営業本部長【昇任】	(株)遠鉄自動車学校 取締役営業本部長	大石 成善
(株)青山商会 取締役四輪営業本部長【新任】		桜井 幸一

◆退任役員 遠鉄グループ 常勤役員(退任日:各社株主総会日)

旧職	氏名
(株)遠鉄ストア 専務取締役	松本 洋一
静岡トヨタ自動車(株) 取締役バリューチェーン推進部長	大森 勝利
静岡トヨタ自動車(株) 取締役物流事業部長	青木 敬介

【参考】遠鉄グループ各社 株主総会日

日付	会社名
5 月 31 日	(株)遠鉄百貨店 ・ (株)遠鉄百貨店友の会
6 月 1 日	遠鉄アシスト(株) ・ (株)青山商会
6 月 27 日	遠州鉄道(株) ・ 5/31、6/1、6/28 開催以外のグループ会社
6 月 28 日	日之出自動車工業(株)